

年間授業計画

科目名 (単位数)	政治・経済(3)	教科書:最新 政治・経済 新訂版
対象学年	3	副教材1:最新 政治・経済資料集2023
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	1. 民主政治の基本原則 2. 日本国憲法の基本原則 ・日本国憲法の成立 ・基本的人権の保障	・民主政治の基本原則がどのように歴史的に発達してきたかを理解させる。 ・日本国憲法の成立の意義について考えさせる。 ・人権の中心をなす自由権の内容と保障に関する日本国憲法の規定について理解させる。 ・社会権等の意義について考察させるとともに日本国憲法で保障された内容について整理や確認させる。
1学期期末	3. 日本の政治機構 (国会・内閣・裁判所・選挙制度) 4. 現代日本の政治	・日本の三権分立の内容や特徴について理解する。 ・日本の選挙制度の特徴と課題について考察する。 ・戦後政治の各時代の特徴を整理し、21世紀の政治課題について考えさせる。
2学期中間	5. 現代の国際政治 6. 経済社会の変容 7. 現代経済のしくみ	・国際法や国連の役割を考えさせ、国際政治の諸課題について考察させる。 ・経済社会の発達過程を確認させ、資本主義経済の一般的特徴について理解させる。 ・市場機構、経済成長、金融、財政についての学習を通じて現代の経済のしくみを理解させる。
2学期期末	8. 現代経済と福祉の向上 9. 世界経済と日本	・労働政策や社会保障について、考察させる。 ・貿易、外国為替、国際収支の仕組みを理解し、経済のグローバル化の意味を考察させる。
3学期	10. 現代社会の諸課題	・1, 2学期に政治、経済について学習したことを活用して、日本や世界が直面する格差、雇用、環境等をめぐる課題について考察させる。
評価の 観点と方法	定期考査、提出物、出席状況等から総合的に判断して評価する。	